

ロイヤルインダストリーズは、主力の「ケルパック」シリーズをはじめ、有機質の葉面散布用肥料や土壌改良材を生産・販売する生産資材メーカーだ。有機質資材を駆使した農業生産を広げることで、国産農作物の品質や安全性を高め、輸入に負けない産地づくりを後押しする考えだ。

「ケルパック」シリーズは、南アフリカ産の巨大海藻を原料とした植物活性材だ。生育を旺盛にし、発根を促して光合成能を高めることで、増収や品質向上が期待できる。形状は微細な穴の開いた鉱物のゼオライトに染み込ませた粒状と液状の2種類で、水稲用と果樹・畑作用、茶用がある。

同シリーズは、食品貿易会社を経営していた山田靖史社長が40年前、買い付けてきた原料の海藻で野菜の成長が良くなることに気がつき、開発のきっかけになっ

### ロイヤルインダストリーズ（東京）



「ケルパック」シリーズなどを紹介する山田社長（東京都狛江市で）

## 有機質資材を駆使 体系的対策 現場に提案

た。山田社長はロイヤルインダストリーズを設立し、1984年に商品を発売した。

「有機質資材の効果を農家に信用してもらうには、徹底してデータを集め、統計的に示していくことが重要」と山田社長は考える。研究や利用が積み重なり、実際に使った農家の口コミなどで広がった。

利用拡大には環境保全型農業への関心の高まりも追い風となった。有機JAS規格に適合した資材にも認定されている。「慣行農業はもちろん、有機農業の実践農家にも貢献できる資材を常に目指している」と強調する。

資材を売って終わりでない。かんきつの隔年結果に對しては、剪定（せんでい）や施肥の技術も研究し、「ケルパック」を活用した体系的な対策を現場に提案。農家の悩みを、この

資材を使っていかに解消するかに重きを置く。

土壌改良材「田んぼの鉄人」も農家の悩みを解消しようと生まれた商品だ。水田の水質を改善し、藻の発生を抑える。凍霜害対策資材「霜ガード」や日焼け防止材「こかげ」なども「自然現象などどうしようもないと思われがちな悩みにこそ応えたい」と開発した。

農家の高齢化が進む中で、作業を省力できる商品の開発に特に力を入れる。液肥「どぼとちやって終わりは、容器をカッターで切り、水田の水口に流し込むだけで、追肥作業を大幅に軽減できる。水田の枚数によるが、1畝当たり10分ほどで処理できるという。親水性が高く、成分が均一に広がるのも特徴だ。「ケルパック」を主成分とした液剤「DINAプロリン1号」はリンゴの着色を増進し、葉摘作業を省力化する。

会社 フォーカス

- 会社概要＝1979年創業。福島、新潟県に工場を持つ。従業員は40人。
- 所在地＝〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1の15の19（電03（3489）1408。